

共利群生の もりをめざして

2022
第21号
秋

共利群生のもりをめざして 2022 第21号

高野山は自然豊かな場所?

「高野山は古来より紀伊山地の深い山々に囲まれ、自然豊かな場所です。」

それでは自然豊かな場所とはどの様な場所なのでしょうか?

自然の原義的な意味は「人為的な介入が加わっていない、ありのままの状態」を指しますが、

高野山は人為的な介入の無い、いわゆる“原生林”や“天然林”かと言うとそうではありません。

金剛峯寺が有する約1500ヘクタールの山林は、

まったく人の手が加わっていない“原生林”や“天然林”だけでなく、

古より人々が山林や森を育み手入れをしてきた“人工林”も多くあり、お大師様が開創されて以来、

1200年以上もの間、高野山護持のために大切に管理し守られてきました。

その森は様々な動植物にとって命が育まれる場所となり、

「自然豊かな場所」と称される場所となったわけなのです。

現在、地球の環境破壊が大きな問題となっていますが、環境を破壊しているのが人間であるならば、

その環境を守ることが出来るのもまた人間に他なりません。

生きとし生けるものが《共利群生》出来る世界であるために、

山林部もそれに向けた山林管理を行って参ります。

山林管理には大変な時間と手間を必要としますが、

これからも努めて参りますので皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

山林部一同

宗祖弘法大師御誕生1250年記念大法会

令和5年5月14日～7月9日

いのちよ輝け—大師のみこころと共に—

新型コロナウイルス感染症の被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに
高野山から一日も早いご快復を心よりお祈り申し上げます。



0736-56-4640

FAX.0736-56-4640

E-mail sanrinka@koyasan.or.jp

※次号から会報の送付を停止する場合は、お手数ですがご一報下さい。

〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山132 金剛峯寺 山林部

TEL.0736-56-2016(直) FAX.0736-56-4640

Photographs 垂井 俊憲



このリーフレットは環境と資源を守る
植物油インキを使用しています。



献木一口
2,000円

皆さんから寄せられた献木のご净財は、高野山の
森林護持の為に大切に使わせていただいております。
ご献木（ご寄付）いただいた皆さんには記念品を
進呈いたします。



高野靈木五色腕輪念珠

1口 2,000円
の場合
どちらかを
お選び下さい

高野靈木と五色の靈玉により、
腕輪念珠を作製致しました。
使用済念珠の取扱について
破損等で不要になった念珠は、奥之院
燈籠堂にお納めさせて頂きますので、
山林部宛にご返送下さい。(送料実費)

5膳入り箸セツト（限定500セツト）



カレンダーの販売は代引きのみ行っております。
令和5年の干支は卯になります。

高野靈木カレンダー短冊付
(限定1,000本)

5口 10,000円
の場合
どちらかを
お選び下さい

高野の森の香りハンドクリーム
(限定100個)



献木受付は
こちらから



会報バック
ナンバーは
こちらから



『献木』お振込先

振替用紙をご送付致しますので、山林部までご連絡下さい。
郵便振替口座：大阪 00930-6-61758
ゆうちょ銀行：〇九九支店 当0061758
加入者名：宗教法人 金剛峯寺山林部

●窓口やATMでの払込みサービスを現金で利用するときには、1件
ごとに料金110円が加算されます。通帳またはキャッシュカード
を利用する場合は加算の対象外です。

お問い合わせ

〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山132 金剛峯寺 山林部
TEL.0736-56-2016(直) FAX.0736-56-4640
E-mail sanrinka@koyasan.or.jp

参 与 会

この度、大門と靈宝館に新しいベンチを設置する事となりました。これは昨年度から継続されている事業で、参与会ご協力のもと実施させて頂いております。

大門は高野山の総門として高野山内に車で来られた方が最初に目にする堂宇です。歩いて町石道から高野山に来られた方は、目の前に飛び込んで来る姿を見て長い登山のゴールを実感し、境内にあるベンチはその疲れを癒やしてくれることだと思います。

靈宝館は昨年開館百周年を迎えるました。靈宝館に続く中庭は多くの木々が植えられており、紅葉の季節には写真コンテストが開催されるなど来られた皆様を楽しませてくれます。

この度設置されるベンチは2脚を連結した長いすの物で、多人数で座られる場合でも十分な間隔を保て、コロナ禍でも安心して休憩頂ける事と思います。歩き疲れた時には是非ご利用下さい。



檜 皮 「ふるさと文化財の森」

檜皮とは屋根葺用材に檜から採取した樹皮です。樹齢70~80年以上の立ち木から採取されます。

高野山の建造物の多くはこの檜皮葺の屋根が使われており、定期的なメンテナンスが欠かせません。

現在は令和5年に迎える宗祖弘法大師御誕生一二五〇年記念大法会事業として伽藍御影堂の檜皮屋根葺替を行っております。

金剛峯寺が管理している山林にも多くの檜があり、檜皮採取地として約一二五ヘクタールが、「ふるさと文化財の森」に認定されています。これからも高野山の文化財や伝統的な檜皮葺が護られ続ける事を願つております。



記念事業はこちらから



檜皮

記念事業はこちらから



十津川・立里山林を視察してきました



十津川・立里山林を 視察してきました

金剛峯寺は高野山周辺以外に奈良県十津川村、野迫川村立里に山林を所有しております。

この度生育状況を確認するために各山林の視察を行いました。近年の豪雨などにより所々土砂崩れなどありましたが、木の生育は順調に進んでいることが確認出来ました。

これからも良い山になるよう管理を行って参ります。

順調に育っています。



十津川山林入口

献木植樹祭



總本山金剛峯寺山林部（津田哲哉部長）では伽藍不動堂前において令和4年度献木植樹祭を4月27日に執り行いました。今年は高野山真言宗愛媛青年教師会が結成40周年記念として献木奉納が行われ、執行部をはじめ役員の皆様も出席頂きました。

葛西光義管長猊下お導師のもと法会が執り行われ、近藤本淳総務部長挨拶のあと、高野山真言宗愛媛青年教師会と大西龍心和泉支所観音院住職に感謝状が授与されました。今年は葛西光義管長猊下、金剛峯寺役員、愛媛青年教師会、献木志納者らにより石榴花8本が植樹されました。

植樹地は昨年枯朽した木をやむなく伐採した場所で、これから新たな名所になり、参詣される皆様に喜んで頂ければ幸いです。



高野 さんぽ クリンソウ

花茎の高さは50cm程になる大型のサクラソウの仲間で、仏塔の上にある九輪に形状が似ていることから名付けられたそうです。高野山では一時は激減しましたが、少し毒があるようで鹿に食べられないため増えています。5月頃高野山の湿地でこの花が咲き、ピンク色に染まります。花言葉は「幸運を重ねる」です。

エスディージーズ SDGs × 山林部

～高野山の間伐材の檜でバッジを作成しました～

金剛峯寺は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

この度金剛峯寺職員等関係者の意識向上、またご参詣のみなさまにも興味や関心を持っていただくため、高野山の間伐材等のヒノキを利用してSDGsバッジを作成いたしました。

これからも高野山の山林が未来永劫存続するための管理を行って参ります。

※なお一般の販売は行っておりません。



12
つくる責任
つかう責任



15
陸の豊かさも
守ろう

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS